



MITO

水戸ユネスコだより

【第2023-1号】2023年3月15日

【編集・発行】水戸ユネスコ協会(Mito UNESCO Association)

事務局 〒310-0852 水戸市平須町 1828-660

創立40周年記念事業を終えて

平和を願い、地域に根ざした活動を目指します

水戸ユネスコ協会 会長 林 和男

昨年10月29日(土)、水戸市国際交流センターにおいて、水戸ユネスコ協会創立40周年記念式典を無事挙行できましたことを心から御礼申し上げます。当日は秋晴れの中、高橋靖水戸市長様をはじめたくさんのご来賓をお迎えし、盛況のもとで開催できました。

改めてこの場をお借りしてご式典に列席賜りました皆様、準備にご苦勞を頂いた会員の皆様へ厚く御礼申し上げます。

式典後、常磐大学学長富田敬子様より「戦争・貧困のない平和な世界をつくるために」という演題で記念講演を賜りました。今なお終わりの見えない、悲惨なウクライナにおける戦争にも触れられ、平和を実現するためにSDGsが関わる意義、並びに教育の果たす役割の大切さを強く訴えられました。まさに私たちユネスコの会員が果たすべきことや活動の方向をお示ししていただきました。

創立40周年を迎えた水戸ユネスコ協会は、会員が心一つにして、これからも平和な世界の構築を目指して、地域に根ざしたユネスコ活動を進めてまいりたいと存じます。

コロナ禍も早4年目を迎えましたが、感染に十分注意を払いつつ、オンラインによる環境学習会、「絵でつたえよう！わたしの町のたからもの」絵画展、こみっとフェスティバルへの参加(映像発表)など、数々の事業を粛々と進めております。

これからも水戸ユネスコ協会に対しまして皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。



2023年度 通常総会
令和5年4月23日(日)
水戸国際交流センター
多目的ホール



ユネスコ憲章

- ◎心の中に平和の守りを固めよう
 - ◎全ての人間の尊厳を重んじよう
 - ◎教育・科学・文化の発展に努めよう
 - ◎民族間の疑惑と不信をのぞこう
 - ◎世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう
- (国際連合 UNESCO 憲章前文より抜粋)

創立40周年記念式典開催

水戸ユネスコ協会は、創立40周年記念式典を、令和4年10月29日、水戸市国際交流センターにて開催しました。当日は、水戸市長をはじめ、多くの来賓の方々にご出席をいただき、会員を含め約50名の参加のもとに行われました。

式典においては、ユネスコ憲章の理念に基づき行ってきた平和活動、国際交流、地域遺産顕彰、寺子屋募金活動、環境活動等を振り返り、近年のコロナ禍においても、地道に活動を続け、40周年を迎えられたことの喜びを分かち合うことができました。また、更なる10年先を見据え、ユネスコの理念に基づき、地域社会に貢献できる未来ある活動を行っていくことを確認しました。

式典終了後、常磐大学学長富田敬子氏による「戦争、貧困のない平和な世界をつくるために」と題して講演を開催しました。講演から、あらためて平和の大切さを認識し、ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」の理念を強く持ち続けることの大切さを痛感しました。

(櫻庭紀久子)



広がる「梅染めプロジェクト」

「梅染め」は水戸ユネスコ協会のSDGs・環境活動の一環として4年目を迎えました。偕楽園の梅の木の剪定枝や各家庭の梅枝を用いて染色液をつくり、染めた布等でハンカチや身近な小物を作り利用するエコな草木染めです。昨年立ち上げた「梅染めプロジェクト」は2年目に入り、担当会員を中心に、作品の展示会や体験動・ワークショップ(学校・一般・地域のコミュニティ)など実施し、より充実したものとなりました。

同プロジェクトでは水戸市総合教育研究所主催の次世代エキスパート育成事業での「梅染体験会」、水戸二高・水戸工高・智学館中等教育学校・文化デザイナー学院等での「梅染講習会」、「偕楽創立180周年記念梅染め体験会」、常磐大学での「梅染め海外交流プログラム」、ライフサロン・インフィニート及び寿市民センターでの「ワークショップ」等に、本協会会員が講師、助言者として参加しています。これらの事業においては、水戸市を中心として県内各地からの参加者もあり、活動の広がりを改めて実感しました。

3月1日(水)から14日(火)にわたって、上記の学校・団体とともに「見つけた!茨城・水戸の魅力~梅染めの明日」というテーマで茨城新聞みと・まち情報館において展示会を開催し、300名以上の来場者を数えました。今後とも協会として、SDGsの目標達成・水戸の魅力向上を目指し、学校やコミュニティに積極的に働きかけをしてまいります。

(高木昌宏)



今年度も無事開催できた「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」水戸地区絵画展

水戸市内の小・中学校のご協力により絵画展は12月20日~27日にかけて常陽銀行本店ロビーにおいて開催されました。コロナ過が続き創作活動も制限される中で、市内の歴史ある文化財や身の回りの自然や風景を大切にしたいという思いが伝わる作品が多く寄せられました。また、自分の住む町の将来像を想像した作品もみられました。

身近な題材を中心に、現在から未来へと継続して環境を大切に、持続可能な社会をつくるというSDGsの趣旨に合った作品が多かったと思います。昨年に引き続き、作品には、「作者からの一言」を添えていただき、作品とともに展示させていただきました。

(高木昌宏)



2022 年度通常総会報告

2022 年度通常総会が、5 月 22 日（日）水戸国際交流センター（多目的ホール）にて開催されました。2021 年度の事業報告・決算報告、2022 年度の事業計画（案）・予算（案）、会則変更について審議され、了承されました。会則変更により、年度途中に入会した者は当該年度の会費は免除となり、役員に事務局次長 1 名、会計 2 名が加わることになりました。

総会后、NGO いばらき事務局長の小野瀬武康様から「NGO による国際協力活動と平和への貢献」という演題でご講演をいただき、フィリピン・ネグロス島への支援活動を紹介していただきました。知識がないと人の言うことを疑うことすらできず殺し合いが起こるといふ現実から学ぶことの大切さや、人と人が信頼できるようになる相互交流が国際平和につながるというお話が心に残りました。（中庭陽子）

環境学習会について

水戸ユネスコ協会では毎年 1 回環境学習会を開催することにしてありますが、令和 4 年度は定例会での勉強会も合わせると 3 回開催することができました。

1 回目はサステナブルファッションについてで、大量の廃棄物を無くすため、産業のあり方の変化と個人のエシカル消費の両方が大切であることを学習しました。

2 回目は人口問題についてでしたが、世界人口の増加により環境への負荷が今後より高まっていることや、エコロジカルフットプリントやオーバースhoot デイという観点から人口問題と持続可能性の問題と結び付けて考えました。

3 回目はアジア学院やセカンドリーグ茨城から講師を招きフォーラム形式で持続可能な食と農業について考えました。このまま人口増加や気象変動が続くと食料不足になるという危惧が高まっていますが、その背景や根拠についても検証しつつ自分たちの食生活を振り返る必要があると分かりました。

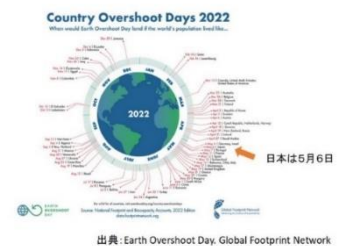
いろいろな問題について勉強しましたが、それぞれが背後で関係し合っていて、課題解決には全体を構造的に理解し、社会の生産消費活動のあり方を変革していくことが大切であると分かりました。

（館山 佳央）

世界の栄養不足人口の推移



世界中の人が日本人と同じ生活をしたら、地球は約3個必要



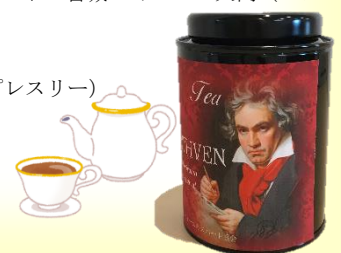
民間ユネスコ運動の日特別行事「音楽に寄せて平和を願う」

ー紅茶とピアノの調べにのせて平和の心を広げようー

水戸ユネスコ協会創立 40 周年記念式典の終了後に、「民間ユネスコ運動の日」特別行事として、「音楽に寄せて平和を願う」をテーマに、榊原聡子氏によるピアノ演奏が行われました。また、音楽に合わせて、ティーエキスパート協会会長先崎キヨ子氏がブレンドした「ベートーベン・ブレンド」及び「エルヴィス・ブレンド」の紅茶が提供されました。心に響くピアノ演奏と美味しい紅茶をいただきながら、心豊かなひとときを持つことができ、平和を祈り、平和の心を広げました。（先崎キヨ子）

なお、ピアノ演奏の曲目は以下のとおりです。

- ・ヴァイオリンソナタ第 5 番「春」より第 1 楽章（ベートーベン）
- ・悲壮ソナタより第 2 楽章アダージョ・カンタービレ（ベートーベン）
- ・組曲「展覧会の絵」より プロムナード～古城～キエフの大門（ムソルグスキー）
- ・ラブミー・テンダー（エルビス・プレスリー）
- ・イエスディ（ビートルズ）
- ・ウクライナ民謡メドレー
- ・イマジジン（ジョン・レノン） 他



「新年交流会」について

コロナウイルス感染確認から3年が経過しました。その間、様々な事業やイベントを中止せざるを得ない状況が続きました。未だコロナ禍ではありますが、久しく開催できませんでした新年交流会を令和5年1月21日（土）、水戸市国際交流センターで開催できましたことに感謝いたします。

今回は、ヘルマンハーブ奏者の種村厚子様とそのお仲間4人の皆様をお迎えして「新春の集い」と題して「早春賦」、「春の気配」、「白い恋人たち」など全7曲の演奏が行われました。優雅で爽やかなヘルマンハーブの音色に包まれ心穏やかな時間を楽しみました。演奏後、実際に楽器に触れ自分で音を出したり、ヘルマンハーブの余韻ある響きを感じたり、独特の楽譜を見せていただいたりして楽器に対する興味がわいた貴重な時間をも楽しみました。

その後、集まった会員の皆様とささやかではありましたが、宝壽茶と和菓子をいただきながら、近況報告や今年の自分の抱負ややりたいこと、今後の水戸ユネスコ協会に対する思い等を直接笑顔で語り、充実した交流となりました。

これからも感染防止に配慮して、無理のない活動を皆様とともに続けていきたいと改めて思いました。

(寺門律子)

第78回日本ユネスコ運動全国大会 in 木更津に参加して

11月26日（土）、千葉県木更津市、かずさアカデミアホールにおいて、「オーガニックシティ木更津からの発信」をテーマのユネスコ全国大会報告です。

主催者の日本ユネスコ協会連盟の佐藤美樹会長の挨拶、オドレー・アズレー国連UNESCO事務局長から寄せられたメッセージのいずれも、ウクライナにおける憂慮すべき事態に触れ、「平和に対する大きな危機に直面している今、ユネスコが果たすべき役割」について蕩々と訴えられました。

基調講演では、俳優の宇梶剛士氏による「明日に向かって生きる」の演題で、ご自身の困難を極めた少年時代の経験を振り返り、夢を持って進むことの大切さを話されました。

実践発表では、多様性を尊重する社会づくりをテーマとした活動を高く評価された木更津市清見台小学校の児童たちや、同市のALTキャサリン・ジュンゲ氏による木更津での心暖まる出合いをテーマとした事例発表がありました。

次いで「誰一人取り残さない平和で持続可能な未来を目指して」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。パネラーの渡辺芳邦氏

(木更津市長ほ) 他お二方による、「次世代へ繋いでいきたい生き方、心がけ、人との関わり方」など、たいへん有意義なお話を聞くことができました。全国大会へは3年振りの参加でしたが、日頃のユネスコ活動を振り返る良い機会となりました。

  (林 和男)



こみっとフェスティバルに参加して

今年度のこみっとフェスティバルは2月18日19日に開催されました。水戸ユネスコ協会では昨年度と同様に動画での出展となりました。今年度は智学館中等教育学校の生徒に原稿を読んでもらいスライドショー形式の動画を作成しました。

内容は以下の通りです。

- 1 水戸ユネスコ協会の活動について。ユネスコの精神・異文化交流・「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展の紹介・梅染めについて等の地域の身近なものをテーマにいろいろな活動していることを紹介
- 2 智学館中等教育学校での梅染めの成果について。今年で3年目ということで1年目からの活動の変遷を紹介
- 3 みと・まち・情報館での「水戸梅染めの明日—伝統から新しい波へ」展のお知らせについて。智学館中等教育学校・文化デザイナー学院・常磐大学・水戸ユネスコ協会など、様々な教育現場で実践している取り組みであり、それらの展示を行っていることの紹介

こみっとフェスティバルは2017年からの参加となり、継続しているイベントです。今後もこのイベントを通して水戸ユネスコ協会の発展に貢献していけたらと思います。

  (五十嵐 蓮)